

対象校No. 889
注4

学校コード F127310108241
注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の設置
注1



注2
大阪成蹊大学 データサイエンス学部

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人 大阪成蹊学園
令和6年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営企画本部 経営企画部
職名・氏名	フチョウ マツカワ マサユキ 部長 松川 正幸
電話番号	06-6829-2620（内線：1251）
（夜間）	06-6829-2620（内線：1251）
e-mail	ksh@osaka-seikei.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

データサイエンス学部

＜データサイエンス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教育研究実施組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人大阪成蹊学園

(2) 大 学 名

大阪成蹊大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒533-0007

大阪府大阪市東淀川区相川1丁目3番7号

(〒533-0007 大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イイ シゲル) 石 井 茂 (平成22年4月)		
学 長	(ナカムラ ヨシマサ) 中 村 佳 正 (令和5年4月)		
学 部 長	(ヨシガワ マサトシ) 吉 川 正 俊 (令和5年4月)		
学科長等	(コヤマダ コウジ) 小 山 田 耕 二 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5)－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
データサイエンス学部 データサイエンス学科 学士 (データサイエンス)	工学関係	4 年	80 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	320 人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5)－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	80人 80 (—) [—]	人 — (—) [—]	80人 80 (—) [—]	人 — (—) [—]	—	0.75倍	—	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	253 (—) [0]	— (—) [—]	207 (—) [1]	— (—) [—]				
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	225 (—) [0]	— (—) [—]	198 (—) [1]	— (—) [—]				
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	190 (—) [0]	— (—) [—]	181 (—) [0]	— (—) [—]				
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	68 (—) [0]	— (—) [—]	53 (—) [0]	— (—) [—]				
入学定員超過率 B／A	—		—						0.85		0.66					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 - ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
 - ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・ 「(5)－② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	68 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	53 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
2 年次			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	67 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
3 年次					－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
4 年次							－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
計			－ [ー] (ー)				－ [ー] (ー)		－ [ー] (ー)		68 [ー] (ー)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和5年度	68 人	1 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	1 人	- 人	就職(1人)
令和6年度	120 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{68} = \boxed{1.47} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{120} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<データサイエンス学部 データサイエンス学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 担 ・ 兼 任	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
大学 共通科目	初 年 度 科 目	学 び の 基 礎	成蹊基礎演習1	1前	2			1	1	1				
			成蹊基礎演習2	1後		2		3						
		文 章 と 表 現	スタディスキルズ1	1前		2		2	1					
			スタディスキルズ2	1後		2		2	1					
	外 国 語 科 目	外 国 語	英語演習Ⅰ	1・2前		1							2	
			英語演習Ⅱ	1・2後		1							2	
			英語演習Ⅲ	2・3前		1							2	
			英語演習Ⅳ	2・3後		1							2	
			英語表現Ⅰ	1・2・3前		1							1	
			英語表現Ⅱ	1・2・3後		1							1	
			中国語入門Ⅰ	1・2・3前後		1							1	
			中国語入門Ⅱ	1・2・3前		1							1	
			フランス語入門Ⅰ	1・2・3前後		1							1	
			フランス語入門Ⅱ	1・2・3前		1							1	
			韓国語入門Ⅰ	1・2・3前後		1							2	
			韓国語入門Ⅱ	1・2・3前		1							1	
		留 学 生 科 目	日本語演習1	1前		1							1	
			日本語演習2	1後		1							1	
			日本語演習3	2前		1							1	
			日本語演習4	2後		1							1	
		教 養 科 目	人 間 と 智	人間と文学	1・2・3・4前後	2								1
				人間と宗教	1・2・3・4前後	2								1
				人間と哲学	1・2・3・4後	2								1
				人間と芸術	1・2・3・4後	2								1
	教育学入門			1・2・3・4後	2								1	
	現代倫理			1・2・3・4前	2								1	
	心理学概論			1・2・3・4前後	2								2	
	考古学			1・2・3・4前後	2								1	
	日本史概説			1・2・3・4後	2								1	
	外国史概説			1・2・3・4前後	2								1	
	国 際 社 会 と 日 本		日本国憲法	1・2・3・4前後	2								2	
			国際関係論	1・2・3・4前	2								1	
			人権と社会	1・2・3・4前後	2								1	
			社会学概論	1・2・3・4前後	2								2	
			多文化共生社会	1・2・3・4前後	2								1	
			現代と社会福祉	1・2・3・4前後	2								2	
			ジェンダー論	1・2・3・4前後	2								1	
			大阪の風土と文化	1・2・3・4前後	2								1	
			京都の文化と芸術	1・2・3・4後	2								1	
			現代社会と政治	1・2・3・4前	2								1	
			現代社会と経済	1・2・3・4前後	2								2	
			現代社会と法	1・2・3・4前後	2								1	
	科 学 と 環 境		生命と科学	1・2・3・4前後	2								1	
			地球環境問題	1・2・3・4前後	2								1	
			暮らしの科学	1・2・3・4前後	2								1	
			現代と科学	1・2・3・4後	2								1	
	ス ポ ー ツ		スポーツ演習Ⅰ	1・2・3・4前	1								4	
			スポーツ演習Ⅱ	1・2・3・4後	1								4	
			健康科学	1・2・3・4前後	2								1	
	A I ・ デ ー タ リ テ ラ シー		情報リテラシー1	1前		2							1	
			情報リテラシー2	1後		2							1	
			データサイエンス基礎	1・2・3・4前後	2			1	1					
			データサイエンス実践	1・2・3・4後	2					1	1			
			統計学基礎	1・2・3・4前後	2					1	1			
			統計学実践	1・2・3・4後	2					1	1			
			AI入門	1・2・3・4後	2								1	
	キ ャ リ ア 科 目		学部横断型プロジェクト	企業等連携PBL	2・3・4前		2		3					
			キ ャ リ ア	キャリアプランニング	2・3・4後		2		2	1				
				ビジネス・インターンシップ1	3・4前		2		3					
	小計(59科目)					4	96	0	8	5	2	1	0	46

【令和6年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置				基幹教員以外の教員 (助手を除く)		
						必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
外国語科目	初年次科目	基礎	成蹊基礎演習1	1前		2			1	1	1				
			成蹊基礎演習2	1後			2	3							
		文章と表現	スタディスキルズ1	1前			2		2	1					
			スタディスキルズ2	1後			2		2	1					
	外国語	英語演習Ⅰ	1・2前			1								1	
		英語演習Ⅱ	1・2後			1								1	
		英語演習Ⅲ	2・3前			1								1	
		英語演習Ⅳ	2・3後			1								1	
		英語表現Ⅰ	1・2・3前			1								1	
		英語表現Ⅱ	1・2・3後			1								1	
		中国語入門Ⅰ	1・2・3前後			1								1	
		中国語入門Ⅱ (未開講)	1・2・3前			1								1	
		フランス語入門Ⅰ (未開講)	1・2・3前後			1								1	
		フランス語入門Ⅱ (未開講)	1・2・3前			1								1	
		韓国語入門Ⅰ	1・2・3前後			1								2	
		韓国語入門Ⅱ (未開講)	1・2・3前			1								1	
		留学生科目	日本語演習1 (未開講)	1前			1								1
			日本語演習2 (未開講)	1後			1								1
			日本語演習3 (未開講)	2前			1								1
			日本語演習4 (未開講)	2後			1								1
	教養科目	人間と智	人間と文学	1・2・3・4前後			2								1
			人間と宗教	1・2・3・4前後			2								1
			人間と哲学	1・2・3・4後			2								1
			人間と芸術	1・2・3・4前後			2								2
			教育学入門 (未開講)	1・2・3・4後			2								1
			現代倫理	1・2・3・4前			2								1
			心理学概論	1・2・3・4前後			2								3
			考古学	1・2・3・4前後			2								2
			日本史概説	1・2・3・4後			2								1
			外国史概説 (未開講)	1・2・3・4前後			2								1
		国際社会と日本	日本国憲法	1・2・3・4前後			2								2
			国際関係論 (未開講)	1・2・3・4前			2								1
			人権と社会	1・2・3・4前後			2								1
			社会学概論	1・2・3・4前後			2								1
			多文化共生社会	1・2・3・4前後			2								1
			現代と社会福祉	1・2・3・4前後			2								1
			ジェンダー論	1・2・3・4前後			2								1
			大阪の風土と文化	1・2・3・4前後			2								1
			京都の文化と芸術	1・2・3・4後			2								1
			現代社会と政治	1・2・3・4前			2								1
			現代社会と経済	1・2・3・4前後			2								2
			現代社会と法	1・2・3・4前後			2								1
		科学と環境	生命と科学	1・2・3・4前後			2								1
			地球環境問題	1・2・3・4前後			2								1
			暮らしの科学	1・2・3・4前後			2								3
現代と科学			1・2・3・4後			2								1	
スポーツ健康と		スポーツ演習Ⅰ	1・2・3・4前			1								1	
		スポーツ演習Ⅱ	1・2・3・4後			1								1	
		健康科学	1・2・3・4前後			2								1	
AI・データリテラシー		情報リテラシー1	1前			2								1	
		情報リテラシー2 (未開講)	1後			2								1	
		データサイエンス基礎	1・2・3・4前後	2				1	1						
		データサイエンス実践	1・2・3・4後			2					1	1			
		統計学基礎	1・2・3・4前後			2				1	1				
		統計学実践	1・2・3・4後			2						1	1		
		AI入門	1・2・3・4後			2								1	
キャリア科目	学部横断型プロジェクト	企業等連携PBL	2・3・4前			2		3							
	キャリア	キャリアプランニング	2・3・4後			2		2	1						
		ビジネス・インターンシップ1	3・4前			2		3							
		小計(59科目)				4	96	0	8	4	2	1	0	45	

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 担 ・ 兼 任	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門科目	学部専門科目	専門基礎科目	データサイエンスのための数学基礎	1・2前		2		1	1	1			
			プログラミング基礎	1・2前	2			1					
			統計学1	1・2前	2				1	1			
			データサイエンス概論	1・2前	2			7	5	2			
			データマイニング基礎	1・2後	2			1					
			計算機概論1	1・2後	2			1					
			データと数理1	1・2後		2		1	1				
			アルゴリズム	1・2後		2			1				
			データ可視化	1・2後		2			1				
			ソフトウェア工学基礎	2・3前		2		1					
		専門基幹科目	データと数理2	2・3前		2		1		1			
			統計学2	2・3前		2				1			
			計算機概論2	2・3前		2			1				
			情報検索	2・3前		2		1					
			情報ネットワークとWeb	2・3前		2			1				
			回帰と分類	2・3前		2			1				
			ヒューマン・コンピュータ・インタラクション	2・3後		2			1				
			時系列分析	2・3後		2		1					
			人工知能1	2・3後		2		1					
			機械学習1	2・3後		2			1				
			インターネット開発	2・3後		2		1					
			データベース1	2・3後		2		1					
			モデリングとシミュレーション	2・3後		2		1					
			セキュリティとプライバシー保護	2・3後		2		1					
			セキュリティとデーター貫性	3・4前		2			1				
			クラスタ分析とパターンマイニング	3・4前		2		1			1		
			テキスト解析論	3・4前		2					1		
			ビジネス基礎	3・4前		2		1					
		専門展開科目	統計学3	3・4前		2			1				
			データと数理3	3・4前		2			1	1			
	機械学習2		3・4前		2		1						
	可視化情報学		3・4前		2		1						
	データベース2		3・4前		2		1						
	スポーツデータ科学		3・4前		2			1					
	情報と職業		3・4前		2		2						
	人工知能2		3・4前		2			1					
	計算機援用工学(CAE)		3・4後		2		1						
	ビッグデータとクラウド		3・4後		2		1						
	データ活用		3・4後		2			1					
	事業機会とビジネスモデル		3・4後		2		1						
	観光情報学		3・4後		2		1						
	健康・医療データ科学		3・4後		2		1						
	サービス経営とデータサイエンス		4前		2		1						
	専門演習科目		未来クリエーションプロジェクト1	1前	4			1	1	2			
			未来クリエーションプロジェクト2	1後	4			1	1		1		
			未来クリエーションプロジェクト3	2前	4			3					
		未来クリエーションプロジェクト4	2後	4			2	1					
		未来クリエーションプロジェクト5	3前	4			2	1					
		卒業研究1	3後	4			8	5	2				
		卒業研究2	4前	6			8	5	2				
		卒業研究3	4後	6			8	5	2				
小計(51科目)			-	46	76	0	9	5	2	1	0	0	
合計(110科目)			-	50	172	0	9	5	2	1	0	46	
卒業要件及び履修方法													
大学共通科目において、初年次科目から必修2単位を含む6単位以上、外国語科目から6単位以上、教養科目から必修2単位を含む18単位以上、キャリア科目から2単位以上を含み、合計32単位以上を修得するとともに、専門科目において、専門基礎科目から必修10単位を含む16単位以上、専門基幹科目から26単位以上、専門展開科目から14単位以上、専門演習科目から必修36単位を含み、合計92単位以上を修得し、合計124単位以上を修得することを卒業要件とする。 (履修科目の登録の上限:22単位(1学期))													

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					員 基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 を 除 く)		
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専門科目	学部専門科目	専門基礎科目	データサイエンスのための数学基礎	1・2前			2		1	1	1				
			プログラミング基礎	1・2前	○	2			1						
			統計学1	1・2前	○	2				1	1				
			データサイエンス概論	1・2前	○	2			7	5	2				
			データマイニング基礎	1・2後	○	2			1						
			計算機概論1	1・2後	○	2			1						
			データと数理1	1・2後	○		2		1	1					
			アルゴリズム	1・2後	○		2			1					
			データ可視化	1・2後	○		2			1					
			ソフトウェア工学基礎	2・3前	○		2		1						
		専門基幹科目	データと数理2	2・3前	○		2		1		1				
			統計学2	2・3前	○		2				1				
			計算機概論2	2・3前	○		2			1					
			情報検索	2・3前	○		2		1						
			情報ネットワークとWeb	2・3前	○		2			1					
			回帰と分類	2・3前	○		2			1					
			ヒューマン・コンピュータ・インタラクション	2・3後	○		2			1					
			時系列分析	2・3後	○		2		1						
			人工知能1	2・3後	○		2		1						
			機械学習1	2・3後	○		2			1					
			インターネット開発	2・3後	○		2		1						
			データベース1	2・3後	○		2		1						
			モデリングとシミュレーション	2・3後	○		2		1						
			セキュリティとプライバシー保護	2・3後	○		2		1						
			セキュリティとデーター貫性	3・4前	○		2			1					
			クラスタ分析とパターンマイニング	3・4前	○		2		1			1			
			テキスト解析論	3・4前	○		2					1			
			ビジネス基礎	3・4前	○		2		1						
		専門展開科目	統計学3	3・4前			2			1					
			データと数理3	3・4前			2			1	1				
			機械学習2	3・4前			2		1						
			可視化情報学	3・4前			2		1						
			データベース2	3・4前			2		1						
			スポーツデータ科学	3・4前			2			1					
			情報と職業	3・4前			2		2						
			人工知能2	3・4前			2			1					
			計算機援用工学(CAE)	3・4後			2		1						
			ビッグデータとクラウド	3・4後			2		1						
			データ活用	3・4後			2			1					
			事業機会とビジネスモデル	3・4後			2		1						
			観光情報学	3・4後			2		1						
			健康・医療データ科学	3・4後			2		1						
			サービス経営とデータサイエンス	4前			2		1						
		専門演習科目	未来クリエーションプロジェクト1	1前	○	4			1	1	2				
			未来クリエーションプロジェクト2	1後	○	4			1				1		
			未来クリエーションプロジェクト3	2前	○	4			3						
			未来クリエーションプロジェクト4	2後	○	4			2	1					2
			未来クリエーションプロジェクト5	3前	○	4			2	1					
			卒業研究1	3後	○	4			8	5	2				
			卒業研究2	4前	○	6			8	5	2				
			卒業研究3	4後	○	6			8	5	2				
小計(51科目)			-		46	76	0	9	5	2	1	0	2		
合計(110科目)			-		50	172	0	9	5	2	1	0	47		
卒業要件及び履修方法															
大学共通科目において、初年次科目から必修2単位を含む6単位以上、外国語科目から6単位以上、教養科目から必修2単位を含む18単位以上、キャリア科目から2単位以上を含み、合計32単位以上を修得するとともに、専門科目において、専門基礎科目から必修10単位を含む16単位以上、専門基幹科目から26単位以上、専門展開科目から14単位以上、専門演習科目から必修36単位を含み、合計92単位以上を修得し、合計124単位以上を修得することを卒業要件とする。 (履修科目の登録の上限:22単位(1学期))															

【令和5年度】

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学 共通科目	初 年 次 科 目	学 び の 基 礎	成蹊基礎演習1	1前	2			1	1	1				
			成蹊基礎演習2	1後		2	3							
		文 章 と 表 現	スタディスキルズ1	1前		2		2	1					
			スタディスキルズ2	1後		2		2	1					
	外 国 語 科 目	外 国 語	英語演習Ⅰ	1・2前		1							1	
			英語演習Ⅱ	1・2後		1							1	
			英語演習Ⅲ	2・3前		1							2	
			英語演習Ⅳ	2・3後		1							2	
			英語表現Ⅰ	1・2・3前		1							1	
			英語表現Ⅱ	1・2・3後		1							1	
			中国語入門Ⅰ	1・2・3前後		1							1	
			中国語入門Ⅱ(未開講)	1・2・3前		1							1	
			フランス語入門Ⅰ(未開講)	1・2・3前後		1							1	
			フランス語入門Ⅱ(未開講)	1・2・3前		1							1	
			韓国語入門Ⅰ	1・2・3前後		1							2	
			韓国語入門Ⅱ(未開講)	1・2・3前		1							1	
		留 学 生 科 目	日本語演習1(未開講)	1前		1							1	
			日本語演習2(未開講)	1後		1							1	
			日本語演習3	2前		1							1	
			日本語演習4	2後		1							1	
		教 養 科 目	人 間 と 智	人間と文学	1・2・3・4前後	2								1
				人間と宗教	1・2・3・4前後	2								1
				人間と哲学(未開講)	1・2・3・4後	2								1
				人間と芸術	1・2・3・4前後	2								1
				教育学入門(未開講)	1・2・3・4後	2								1
				現代倫理(未開講)	1・2・3・4前	2								1
				心理学概論	1・2・3・4前後	2								3
				考古学	1・2・3・4前後	2								1
	日本史概説			1・2・3・4後	2								1	
	外国史概説(未開講)			1・2・3・4前後	2								1	
	国 際 社 会 と 日 本		日本国憲法	1・2・3・4前後	2								2	
			国際関係論(未開講)	1・2・3・4前	2								1	
			人権と社会	1・2・3・4前後	2								1	
			社会学概論	1・2・3・4前後	2								1	
			多文化共生社会	1・2・3・4前後	2								1	
			現代と社会福祉	1・2・3・4前後	2								1	
			ジェンダー論	1・2・3・4前後	2								1	
			大阪の風土と文化	1・2・3・4前後	2								1	
			京都の文化と芸術	1・2・3・4後	2								1	
			現代社会と政治	1・2・3・4前	2								1	
			現代社会と経済(未開講)	1・2・3・4前後	2								2	
			現代社会と法	1・2・3・4前後	2								1	
	科 学 と 環 境		生命と科学(未開講)	1・2・3・4前後	2								1	
			地球環境問題	1・2・3・4前後	2								1	
			暮らしの科学	1・2・3・4前後	2								1	
			現代と科学	1・2・3・4後	2								1	
	ス ポ ー ツ 健 康 と		スポーツ演習Ⅰ	1・2・3・4前	1								3	
			スポーツ演習Ⅱ	1・2・3・4後	1								2	
			健康科学	1・2・3・4前後	2								1	
	A I ・ デ ー タ リ テ ラ シー		情報リテラシー1	1前	2								1	
			情報リテラシー2(未開講)	1後	2								1	
			データサイエンス基礎	1・2・3・4前後	2		1	1						
			データサイエンス実践	1・2・3・4後	2				1	1				
			統計学基礎	1・2・3・4前後	2				1	1				
			統計学実践	1・2・3・4後	2				1	1				
			AI入門(未開講)	1・2・3・4後	2								1	
	キ ャ リ ア 科 目	キャリア学部 プロジェクト キャリア	企業等連携PBL	2・3・4前	2		3							
		キャリアプランニング	2・3・4後	2		2	1							
		ビジネス・インターンシップ1	3・4前	2		3								
	小計(59科目)			-	4	96	0	8	5	2	1	0	46	

【令和5年度】

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目	学部専門科目	専門基礎科目	データサイエンスのための数学基礎	1・2前		2		1	1	1			
			プログラミング基礎	1・2前		2		1					
			統計学1	1・2前		2			1	1			
			データサイエンス概論	1・2前		2		7	5	2			
			データマイニング基礎	1・2後		2		1					
			計算機概論1	1・2後		2		1					
			データと数理1	1・2後		2		1	1				
			アルゴリズム	1・2後		2			1				
			データ可視化	1・2後		2			1				
			ソフトウェア工学基礎	2・3前		2		1					
		専門基幹科目	データと数理2	2・3前		2		1		1			
			統計学2	2・3前		2				1			
			計算機概論2	2・3前		2			1				
			情報検索	2・3前		2		1					
			情報ネットワークとWeb	2・3前		2			1				
			回帰と分類	2・3前		2			1				
			ヒューマン・コンピュータ・インタラクション	2・3後		2			1				
			時系列分析	2・3後		2		1					
			人工知能1	2・3後		2		1					
			機械学習1	2・3後		2			1				
			インターネット開発	2・3後		2		1					
			データベース1	2・3後		2		1					
			モデリングとシミュレーション	2・3後		2		1					
			セキュリティとプライバシー保護	2・3後		2		1					
		専門展開科目	セキュリティとデーター貫性	3・4前		2			1				
			クラスタ分析とパターンマイニング	3・4前		2		1					
			テキスト解析論	3・4前		2				1			
			ビジネス基礎	3・4前		2		1					
			統計学3	3・4前		2			1				
			データと数理3	3・4前		2			1	1			
			機械学習2	3・4前		2		1					
			可視化情報学	3・4前		2		1					
			データベース2	3・4前		2		1					
			スポーツデータ科学	3・4前		2			1				
			情報と職業	3・4前		2		2					
			人工知能2	3・4前		2			1				
			計算機援用工学(CAE)	3・4後		2		1					
			ビッグデータとクラウド	3・4後		2		1					
		専門演習科目	データ活用	3・4後		2			1				
			事業機会とビジネスモデル	3・4後		2		1					
			観光情報学	3・4後		2		1					
			健康・医療データ科学	3・4後		2		1					
			サービス経営とデータサイエンス	4前		2		1					
			未来クリエーションプロジェクト1	1前	4			1	1	2			
			未来クリエーションプロジェクト2	1後	4			1	1		1		
			未来クリエーションプロジェクト3	2前	4			3					
			未来クリエーションプロジェクト4	2後	4			2	1				
			未来クリエーションプロジェクト5	3前	4			2	1				
			卒業研究1	3後	4			8	5	2			
			卒業研究2	4前	6			8	5	2			
			卒業研究3	4後	6			8	5	2			
		小計(51科目)			－	46	76	0	9	5	2	1	0
合計(110科目)			－	50	172	0	9	5	2	1	0	46	
卒業要件及び履修方法													
大学共通科目において、初年次科目から必修2単位を含む6単位以上、外国語科目から6単位以上、教養科目から必修2単位を含む18単位以上、キャリア科目から2単位以上を含み、合計32単位以上を修得するとともに、専門科目において、専門基礎科目から必修10単位を含む16単位以上、専門基幹科目から26単位以上、専門展開科目から14単位以上、専門演習科目から必修36単位を含み、合計92単位以上を修得し、合計124単位以上を修得することを卒業要件とする。 (履修科目の登録の上限:22単位(1学期))													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任・兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)の数、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)の数、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字としてください。(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】 ・授業運営上の理由により、「英語演習Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。 ・授業運営上の理由により、「英語演習Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。 ・授業運営上の理由により、「人間と芸術」の開講時期を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。 ・授業運営上の理由により、「心理学概論」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。 ・授業運営上の理由により、「社会学概論」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。 ・授業運営上の理由により、「現代と社会福祉」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。 ・授業運営上の理由により、「スポーツ演習Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「3」に変更。 ・授業運営上の理由により、「スポーツ演習Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「2」に変更。
【令和6年度】 ・授業運営上の理由により、「英語演習Ⅰ」の基幹教員以外の教員の配置を「2」から「1」に変更。 ・授業運営上の理由により、「英語演習Ⅱ」の基幹教員以外の教員の配置を「2」から「1」に変更。 ・授業運営上の理由により、「英語演習Ⅲ」の基幹教員以外の教員の配置を「2」から「1」に変更。 ・授業運営上の理由により、「英語演習Ⅳ」の基幹教員以外の教員の配置を「2」から「1」に変更。 ・授業運営上の理由により、「人間と芸術」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。基幹教員以外の教員の配置を「1」から「2」に変更。 ・授業運営上の理由により、「心理学概論」の基幹教員以外の教員の配置を「2」から「3」に変更。 ・授業運営上の理由により、「考古学」の基幹教員以外の教員の配置を「1」から「2」に変更。 ・授業運営上の理由により、「社会学概論」の基幹教員以外の教員の配置を「2」から「1」に変更。 ・授業運営上の理由により、「現代と社会福祉」の基幹教員以外の教員の配置を「2」から「1」に変更。 ・授業運営上の理由により、「暮らしの科学」の基幹教員以外の教員の配置を「1」から「3」に変更。 ・授業運営上の理由により、「スポーツ演習Ⅰ」の基幹教員以外の教員の配置を「4」から「1」に変更。 ・授業運営上の理由により、「スポーツ演習Ⅱ」の基幹教員以外の教員の配置を「4」から「1」に変更。 ・授業運営上の理由により、「統計学実践」の基幹教員等の配置の「准教授1、講師1」から「講師1、助教1」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
15 科目	95 科目	0 科目	110 科目	15 科目 [-]	95 科目 [-]	0 科目 [-]	110 科目 [-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{110} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備考			
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大阪成蹊短期大学（必要面積 7,400㎡）、びわこ成蹊スポーツ 大学（必要面積14,400㎡）及び大 阪成蹊女子高等学校（運動場等 8,600㎡・収容定員2,040人）と共 用			
	校 舎 敷 地	15,819.55 ㎡ 15,719.75 ㎡	44,634.85 ㎡ 44,650.40 ㎡	138,485.51 ㎡ 138,485.81 ㎡	198,939.91 ㎡ 198,955.76 ㎡ 198,855.96 ㎡	校舎敷地 専用の内、 借用面積：9,787.51㎡ 借用期間：53年			
	そ の 他	0 ㎡	594.52 ㎡	15,611.11 ㎡	16,205.63 ㎡	運動場用地3か所は校舎敷地と別 地（徒歩約5分に1箇所、徒歩約20 分に1箇所、公共交通機関利用約 50分に1箇所）			
	合 計	15,819.55 ㎡ 15,719.75 ㎡	45,229.37 ㎡ 45,244.92 ㎡	154,096.62 ㎡ 154,096.92 ㎡	215,145.54 ㎡ 215,161.39 ㎡ 215,061.59 ㎡	土地の新規取得のため、大学専用 校舎敷地が99.80㎡増（5） 測量、地積更正により、共用校舎 敷地15.55㎡減、共用する他の学 校等の専用校舎敷地0.3㎡減（6）			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	備考			
		22,640.66 ㎡ 21,995.92 ㎡ 22,061.70 ㎡ (22,061.70 ㎡)	23,361.44 ㎡ 23,154.51 ㎡ 23,012.87 ㎡ (23,012.87 ㎡)	4,763.63 ㎡ 4,765.13 ㎡ 4,840.91 ㎡ (4,840.91 ㎡)	50,765.73 ㎡ 49,915.56 ㎡ 49,915.48 ㎡ (49,915.48 ㎡)	大阪成蹊短期大学（必要面積 9,850㎡）と共用 部屋の用途変更及び登記面積との 差分修正のため（5） 新校舎増設および部屋の用途変更 のため（6）			
(3) 教室・教員研究室		教 室	290室 292室	教員研究室	17室 16室	大学全体（大阪成蹊短期大学と共 用を含む） 他学部の部屋の用途変更及び共用 区分の見直しのため、大学全体の 教室数を変更（5） 教員数変更のため、教員研究室数 を変更（6）			
(4)	新設学部等 の名称	図 書		学術雑誌		機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	備 考	
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	データサイエン ス学部	4,600 [280] 3,287 [269] 3,287 [267] (3,595 [270]) (3,287 [269]) (3,287 [267])	1,590 [162] (1,574 [160])	28 [1] (28 [1])	1 [1] (1 [1])	0 (0)	0 (0)	大学・短大での共用分 図書 315,742 (41,000) 316,872 (41,342) 学術雑誌 19,388 (17,214) 13,931 (11,750) 電子ジャーナル 17,079 (17,079) 11,617 (11,617) 機械・器具 3,449 標本 34 内国書・外国書の区分を修正したた め、外国書の点数が2冊増(5) 図書購入及び雑誌契約変更(6)	
	計	4,600 [280] 3,287 [269] 3,287 [267] (3,595 [270]) (3,287 [269]) (3,287 [267])	1,590 [162] (1,574 [160])	28 [1] (28 [1])	1 [1] (1 [1])	0 (0)	0 0		
(5) スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂	厚生補導施設			大学全体	
		0㎡		0㎡	4706.37㎡				
(6)	経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子書籍・オンラ インジャーナルの整備費を含む （運用コストを含む） 大学全体の図書・設備購入費按分 による変更(6)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	360千円	360千円	図書購入費	24,232千円	2,666千円 2,000千円	2,000千円	
		共 同 研 究 費 等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	589,969千円	5,870千円 1,000千円	1,000千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,654千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	一千円	一千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、私立大学等経常費補助金収入等をもって充当する。						

- （注） ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。
（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び
「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。）
・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において **赤字で見え消し**した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
・ 校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
・ 高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
・ 国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	大 阪 成 蹊 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考			
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度					
<u>データサイエンス学部</u>	4	80	-	160	-	0.75	-	-	令和5	-	令和5年度開設			
<u>データサイエンス学科</u>	4	80	-	160	学士 (データサイ エンス)	0.75	-	-	令和5	大阪府大阪市東淀川区 相川1丁目3番7号				
<u>経営学部</u>	4	260	3年次 11	1,022	-	1.12	1.11	令和4 令和5	平成15	-	令和4年度入学定員変更（110→140） 令和5年度3年次編入学定員変更（1→10）			
<u>経営学科</u>	4	140	3年次 10	550	学士 (経営学)	1.10	1.10	令和4 令和5	平成15	大阪府大阪市東淀川区 相川3丁目10番62号				
<u>スポーツ マネジメント学科</u>	4	120	3年次 1	472	学士 (経営学)	1.14	1.13	令和4	平成28	同上	令和4年度入学定員変更（110→120）			
<u>国際観光ビジネス 学科</u>	4	-	-	-	学士 (経営学)	-	-	-	平成30	同上	令和4年度入学生より学生募集停止、 令和6年度入学生より 3年次編入学生募集停止			
<u>国際観光学部</u>	4	80	3年次 2	242	-	0.83	-	-	令和4	-	令和4年度開設			
<u>国際観光学科</u>	4	80	3年次 2	242	学士 (経営学)	0.83	-	-	令和4	大阪府大阪市東淀川区 相川3丁目10番62号				
<u>教育学部</u>	4	220	3年次 5	870	-	1.09	1.08	令和4	平成26	-	令和4年度入学定員変更（140→150） 令和4年度入学定員変更（60→70）			
<u>教育学科</u>	4	220	3年次 5	870	学士 (教育学)	1.09	1.08	令和4	平成26	大阪府大阪市東淀川区 相川3丁目10番62号				
<u>初等教育専攻</u>	4	150	3年次 5	600	学士 (教育学)	1.15	1.14	令和4	平成26	同上				
<u>中等教育専攻</u>	4	70	-	270	学士 (教育学)	0.95	-	令和4	平成30	同上				
<u>芸術学部</u>	4	240	3年次 7	884	-	1.11	1.09	令和4 令和5 令和6	平成18	-	令和4年度入学定員変更（190→220） 令和5年度3年次編入学定員変更（1→7） 令和6年度入学定員変更（220→240）			
<u>造形芸術学科</u>	4	240	3年次 7	884	学士 (芸術)	1.11	1.09	令和4 令和5 令和6	平成18	大阪府大阪市東淀川区 相川3丁目10番62号				
<u>看護学部</u>	4	80	-	160	-	1.06	1.06	-	令和5	-	令和5年度開設			
<u>看護学科</u>	4	80	-	160	学士 (看護学)	1.06	1.06	-	令和5	大阪府大阪市東淀川区 相川1丁目3番7号				
大学全体	-	960	3年次 25	3,338	-	-	-	-	-	-				

(注) ・本調査の対象となっている大学短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6-7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

個人情報を含む内容につき、掲載しておりません。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

・以下の（兼任）准教授を任用 保田直美 ・以下の（兼任）講師を任用 吉川正美、山本元、松本理沙、宮原朋子、堀江有里、越本博美、李炫淨 ・以下の（兼任）教授は科目担当者から変更。 山本紀美子、鈴木勇 ・以下の（兼任）准教授は科目担当者から変更。 佐野淳也 ・以下の（兼任）講師は科目担当者から変更。 外林大輔、市川和也 ・以下の（兼任）講師は科目担当者から変更。 田邊健太郎、伊与田昌慶、辻慎太郎 ・國方太司（兼任）教授において、担当科目の見直しにより2科目削除。 ・中井秀樹（兼任）講師において、担当科目の見直しにより1科目削除。 ・李貞淵（兼任）講師において、担当科目の見直しにより1科目削除。

【令和6年度】

・以下の（その他）教授を任用。 兒玉圭司 ・以下の（その他）准教授を任用。 保田直美 ・以下の（その他）講師を任用。 足立恵理子、遠藤太良、文珠省三、張野宏也、村井章彦、松尾貴司、吉川千晴、長谷川光、服部翔太、吉川正美、越本博美、堀江有里、李炫淨、宮原朋子、山本元 ・以下の（兼任）教授は科目担当者から変更。 國方太司、寶學淳郎、村田正夫 ・以下の（兼任）准教授は科目担当者から変更。 伊藤由紀子、千代原亮一 ・以下の（兼任）講師は科目担当者から変更。 加藤隆文 ・以下の（兼任）講師は科目担当者から変更。 佐藤愛、松本理沙 ・廣江葵助教において、担当科目の見直しにより1科目追加。（教員審査受審中） ・山本詩子准教授において、担当科目の見直しにより2科目削除。 ・吉川正美（その他）講師において、担当科目の見直しにより2科目追加。 ・長谷川光（その他）講師において、担当科目の見直しにより1科目追加。 ・服部翔太（その他）講師において、担当科目の見直しにより1科目追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合**は、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。
原則としてＡＣ教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。
なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、ＡＣ教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要があります。）
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2) -② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（α）の4分の3以上）
14名	7名	11名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（A'）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（B'）	助手（B'）
9	5	2	1	17	-	0	9	5	2	1	17	16	0
(8)	(5)	(2)	(1)	(16)	-	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（C'）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（D'）	助手（D'）
9	5	2	1	17	16	0	9	5	2	1	17	16	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	-	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	-	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（A'）」欄には「-」を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65歳	3名	4名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】
現在(報告時)の完成年度時の状況(C) / 設置時の計画(A) = 17 / 17 = 100 %

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】
現在(報告時)の完成年度時の状況(C'') / 設置時の計画(A'') = 16 / - = - %

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 / 現在(報告時)の状況(B) = 3 / 17 = 17.64 %

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') / 設置時の計画(A') = 0 / 0 = - %

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3)－① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- （注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- （注）・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（D）＋（F）					後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

0

17

=

0

%

- （注）・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0

人

- （注）・ (3)－①、(3)－②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
- ・ **令和6年度開設の学科等の場合、（D）＋（F）と同数を記載してください。**

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認可時 (令和4年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	入学者選抜の適切な実施等を通じ、収容定員超過の改善に努めること。(経営学部経営学科)	【A C】 指摘事項 (改善) 入学手続き状況や過年度の歩留り率等を考慮して、適切な入学者数の受入れが出来るよう努めている。令和6年度は、入学定員140名に対して入学者141名、入学定員充足率は1.00倍、収容定員充足率は1.10倍となり、令和5年度の収容定員充足率1.19倍から適正な範囲へと改善された。(6)	履行済 今後も引き続き適切な入学者数の受入れが出来るよう努める。(6)

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。) と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<データサイエンス学部 データサイエンス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大阪成蹊大学（以下「本学」という）ではFD委員会を設け、教員の資質の向上に努めている。また本学では、全学的な教学改革を推進することを目的とする教学改革FSD会議を開催し、18のプロジェクトを立ち上げ、推進しており、各プロジェクトとFD委員会が連携して教員の資質を高める研修を開催している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会：

令和5年度のFD委員会：令和5年3月、令和6年3月に実施

令和6年度のFD委員会：各学期1回（年間2回）程度で実施予定

c 委員会の審議事項等

・FD委員会における審議内容

- (1) FD活動の基本方針に関すること。
- (2) FD活動の企画及び立案に関すること。
- (3) FD活動の実施及び結果の公表に関すること。
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供に関すること。
- (5) その他FDに関連すること。

② 実施状況

a 実施内容

FD委員会：

・授業の内容及び方法を改善し、向上を図るための組織的な研究及び研修の推進及び研修活動（詳細は後述する「c 開催状況」を参照）

b 実施方法

上記取組みは、FD委員会および教学改革FSD会議、教務本部等との連携を図り実施する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

前期・後期それぞれでFD研修及び教員の資質の維持向上に係る取組みを実施している。

また、FD研修は全教員を出席対象としており、研修後のアンケート等の提出をもって出席確認をしている。

以下、令和5年度に実施したデータサイエンス学部に係るFD研修一覧

(データサイエンス学部FD研修)

- ・「令和5年度における教学改革の組織的な推進」(出席率100%)
- ・「AI・データサイエンス本学学生に向けたデータリテラシー教育の実践報告」(出席率100%)
- ・「令和6年度「シラバス作成の手引き」とシラバス作成の留意点」(出席率100%)
- ・「生成AIの法的論点に関する説明会」(出席率100%)
- ・「教職課程および教職履修カルテについて」(出席率100%)
- ・「ルーブリックに関する外部講師による講演」(出席率100%)
- ・「高等専門学校卒業生の進路について外部講師による講演」(出席率100%)
- ・「配慮が必要な学生に対する対応と今後の対策」(出席率100%)
- ・「初年次教育(スタディスキルズ/成蹊基礎演習)の組織的な展開に向けた授業準備」(出席率100%)
- ・「授業評価アンケートの分析結果と今後の授業改善対策」(出席率100%)
- ・「ティーチング・ポートフォリオの作成及びワークショップ」(出席率100%)
- ・「パーソナル・ブランド・マネジメントプロジェクトのこれまでの成果と今年度の指導方針」(出席率100%)
- ・「PROGテストの分析結果を踏まえた成果・課題の共有と今後の方針」(出席率100%)
- ・「本学のアクティブ・ラーニング型授業の要点と優れた授業実践事例」(出席率100%)
- ・「成績評価ガイドラインの適切な理解とルーブリックの活用方法」(出席率100%)
- ・「令和5年度GPAの活用方針と指導時の留意点」(出席率100%)

以下、令和6年度に実施予定のデータサイエンス学部に係るFD研修一覧

- ・令和6年度における教学改革の組織的な推進
- ・生成AIの利活用による教育の進化
- ・全学FD研修(将来構想・中長期計画、令和6年度における大阪成蹊の教育の特色など)
- ・令和7年度 入学者選抜における面接試験の運用方法
- ・令和7年度 入学者選抜における面接評価実施にあたっての担当者向研修会
- ・初年次教育(スタディスキルズ/成蹊基礎演習)授業の成果と課題
- ・令和6年度 ビジネス・インターンシップの実施方針とその留意点
- ・卒業研究・制作指導におけるガイドラインの適切な理解と指導の留意点
- ・本学がめざすアクティブ・ラーニング型授業の基本と実施上の留意点
- ・成績評価ガイドラインの適切な理解とルーブリックの活用方法
- ・ティーチング・ポートフォリオの作成及びワークショップ
- ・令和6年度 学外連携PBL授業(キャリアコア科目)の実施成果報告と次年度に向けて
- ・令和7年度「シラバス作成の手引き」とシラバス作成の留意点
- ・教職課程について
- ・PROGテストの分析結果を踏まえた成果・課題の共有と今後の方針
- ・学修成果の可視化の現状と課題
- ・授業評価アンケートの分析結果と今後の授業改善対策
- ・配慮が必要な学生に対する対応と今後の対策
- ・GPAの分析結果と活用方針
- ・パーソナル・ブランド・マネジメントプロジェクトのこれまでの成果と今年度の指導方針および「敬語・言葉遣い」の研修
- ・コンプライアンス・重要リスク研修会
- ・「重要リスク項目に関する自己評価結果に基づき、学園リスクの周知及びトラブル発生リスク低減と教職員の危機管理意識向上」
- ・令和6年度 学長裁量研究報告
- ・研究コンプライアンス・研究倫理の遵守と科研費申請の手続き

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各期末に、担当授業ごと、各教員は授業報告書・改善計画書を学長に提出するほか、シラバス作成に伴いアクティブラーニング実施計画を個々の教員が作成することを予定している。FD研修や授業評価アンケートの実施結果、教員相互の授業参観における授業改善への気づき、教学改革会議において推進されている改革の趣旨・内容等を踏まえながら改善計画を立案し、各教員が個々の授業の省察と改善に取り組むことを予定している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

令和5年度：令和5年7月、令和6年1月の前後期1回ずつ実施
令和6年度：令和6年7月、令和7年1月の前後期1回ずつの実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては、授業評価アンケートの結果をフィードバックするとともに、全授業において授業改善計画書の提出を課す予定としている。また、学生に対しては、授業評価アンケートの結果を冊子化し、図書館に配架し公表することも予定している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

データサイエンス学部データサイエンス学科は、Society5.0への移行が唱えられるデータの時代にこそ必要とされる「人間力」を高め、データを正しく扱うための知識や技能、科学的方法についての理解を持ち、データから新しい知見や価値を見出す分析力と思考力、データをもとに社会や組織の課題を解決していくための創造力や実践力、コミュニケーション力、協働力、データ活用にあたっての倫理観を備え、データサイエンスによる課題解決や課題探索により未来の社会づくりに貢献するデータサイエンス人材を育成することを教育目的とする。

初年度は、大学生としての基本的な学びの態度やアカデミックスキルなどを身に着ける科目である「成蹊基礎演習」や、様々な社会課題を題材として研究・発表・調査・プレゼンテーション等のスキルを養う「スタディスキルズ」などの初年次科目、幅広い教養を身に着けるための教養科目を開講した。また、「AI・データリテラシー」科目群には、データとその扱いに関する基礎的な考え方について、倫理的な課題を含めて学修する科目を開講した。専門科目では、「プログラミング基礎」「統計学」「データサイエンス概論」等、データサイエンスが必要とする数学や統計学、科学的方法の基礎を修得するための科目を開講。さらに、1年次から卒業まで連続して開講する専門演習科目「未来クリエーションプロジェクト」では、データサイエンスによる課題解決や課題探索に関する実践力を高める学びを展開する。このように、申請時の計画通り適切に科目を開講できている。

開設2年目となる令和6年度には、「データと数理2」「統計学2」「計算機概論2」等、数学、統計学、計算機科学の基幹を固める科目を開講する。また、「回帰と分類」「時系列分析」「モデリングとシミュレーション」等、様々な切り口で適切なデータ解析を行うための科目を開講する。さらに、データを注意深く扱うための「セキュリティとプライバシー保護」「セキュリティとデーター貫性」等の科目、情報インターフェース構築のための「情報検索」「情報ネットワークとWeb」「ヒューマン・コンピュータ・インタラクション」「インターネット開発」、ビジネスにおけるデータ活用の基礎を理解するための「ビジネス基礎」等の科目を開講する。

なお、各科目の開講にあたっては、学生にとってより分かりやすいシラバスの作成や養成する人材像ごとの履修モデルの作成を行い、教育内容や履修系統を学生に対して適切に示すことで、教育効果の向上を図っている。あわせて、各教員が、学生一人ひとりの学修状況や授業への出席状況、進路希望の状況などを把握・共有し、助言・指導を行う体制を整えている。今後も、教育効果を一層高めることができるよう、教育内容や教育体制の一層の充実を図っていく所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和7年3月 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和7年3月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和6年に日本高等教育評価機構の評価を受審予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○大阪成蹊大学ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会規程

平成29年9月14日

制定

(趣旨)

第1条 この規程は、大阪成蹊大学評議会規程(平成15年4月1日)第5条第2項の規定に基づき、大阪成蹊大学(以下「本学」という。)に置くファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) FD活動の基本方針に関すること。
- (2) FD活動の企画及び立案に関すること。
- (3) FD活動の実施及び結果の公表に関すること。
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供に関すること。
- (5) その他FDに関連すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- (1) 副学長
- (2) 学部長
- (3) 教務本部長
- (4) 学長が指名する者 若干名

2 前項第4号の委員は、学長が総長の了解を得た上で委嘱する。

(任期)

第4条 前条第1項第4号の委員の任期は、1年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の任期の残余期間とする。

2 前項の委員は、再任することができる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学長が総長の了解を得た上で指名した者とする。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(会議)

第6条 委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

2 委員会の議事は、出席議員の過半数により決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第7条 委員会は、必要に応じ、委員以外の者を出席させることができる。

(事務)

第8条 委員会の事務は、教務部において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の審議を経て学長が別に定める。

附 則

この規程は、平成29年9月14日から施行する。

附 則(平成30年3月29日)

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(令和5年3月15日)

この規程は、令和5年4月1日から施行する。